

地域再生計画（地方創生整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	千葉県	事業実施主体	千葉県、酒々井町	地域再生計画名	酒々井町「人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち」酒々井再生計画
計画期間	平成27年度～令和3年度	評価責任者	酒々井町上下水道事業運営審議会会長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	H27	98.0%	年度	中間実績	98.5%	基準年度		最終実績	指標総数		達成数
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	汚水処理人口普及率	97.8%	H27	98.0%	H29	98.2%	98.5%	R3	98.9%	○	3	1	公共下水道整備及び合併浄化槽整備などの施策の効果により、目標値を達成できた。
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標2	ふるさとガイド案内者数の増加	1,000人	H27	1,250人	H29	1,500人	1,500人	R3	240人 (9,769人)	△	3	1	令和2年度末に本佐倉城址内に案内所が開所し、令和3年度から案内者数のカウント方法を変更しているため比較が困難であるが、令和2年度の実績値が2,693人、令和3年度案内所来場者数が9,769人（ふるさとガイド案内者含む）となったことから、観光地づくりの推進により国指定史跡を訪れる人が増加し、目標値を達成したと考える。（240人：従来のカウント方法、9,769人：案内所来場者、但しふるさとガイド案内者が含まれる。）
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標3	定住人口の増加	21,482人	H27	21,532人	H29	20,906人	21,582人	R3	20,273人	－	3	1	公共下水道整備及び合併浄化槽整備の効果で定住者の増加は見られるものの、町全体では減少しており、社会全体として人口が減少傾向にあることから目標値を下回ったと考える。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (H・R)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業		1,165m	123m	1,107m	今回の整備により汚水処理人口普及率の増加につながったと考えられ、概ね計画通りである。								
	個人設置型合併浄化槽整備事業		16基	8基	12基	今回の整備により汚水処理人口普及率の増加につながったと考えられ、概ね計画通りである。								
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	印旛沼流域水循環健全化計画		印旛沼流域での水循環健全化への取組み、情報発信			住民、企業、行政による取組みが充実し、ホームページを活用した情報発信も周知されつつある。								
	町民と行政との協働による観光地づくりの推進		国指定史跡周辺での観光PR活動			国指定史跡「本佐倉城跡」での環境整備、ふるさとガイドの活動等により観光を訪れる人は増加し、観光PRは充実している。								
④評価方法	酒々井町上下水道事業運営審議会を书面開催し、最終目標値の実現状況に関する評価を行った。													
⑤事後評価の公表方法	酒々井町のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、汚水処理施設整備交付金を活用した公共下水道整備と個人設置型合併浄化槽整備を一体的に実施し、汚水処理人口普及率や観光・交流人口の増などの効果を発現できたと考えている。一方、事業の効果により定住人口の増加を図ったが、少子高齢等の要因もあらずには人口の増までは至らなかったと考える。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画事業の更なる効果を期するため、次期計画により汚水処理施設整備を継続する。													